2025年12月期（第120期）
第3四半期　業績概要

2025年11月13日
日東精工株式会社
（証券コード 東証プライム:5957）

2025年3月
健康経営銘柄
3回目の認定

2022年3月
なでしこ銘柄
初選定

2025年3月
第15回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞「地方創生大臣賞」受賞

連結業績ハイライト

単位：百万円／%	2024/3Q		2025/3Q		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	34,019	100.0	**35,998**	100.0	1,979	5.8
売上総利益	8,030	23.6	8,606	23.9	575	7.2
販売管理費	5,771	17.0	6,342	17.6	571	9.9
営業利益	2,259	6.6	**2,264**	6.3	4	0.2
経常利益	2,377	7.0	**2,175**	6.0	△ 201	△ 8.5
税金等調整前当期純利益	2,328	6.8	2,309	6.4	△ 19	△ 0.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,467	4.3	**1,322**	3.7	△ 145	△ 9.9
一株当たり当期純利益（円）	40.17		36.48			

決算のポイント

売上高
+5.8%

- ファスナー事業は2Qより加わったインド子会社が業績に貢献。ゲーム機向けに精密ねじが大幅に増加。
- 産機事業は世界全体のEV販売減速、米国関税の影響で設備投資が伸び悩み前年同期比で減収。
- 制御事業は化学・薬品向け／国内の電池向け分析・計測機器が堅調も、前年の大型受注の反動で微減。

営業利益
+0.2%

- ファスナー事業で調達先の見直しや金型改善などによる製造コスト低減により利益率が改善し増益。
- 1QにインドM&A関連費を販売管理費に計上した影響で営業利益率は一時的に低下。

経常利益
△8.5%

- 当期は円高が進行し為替差損が発生。特にインドネシア・ルピア安が影響し、前年同期比で減益。

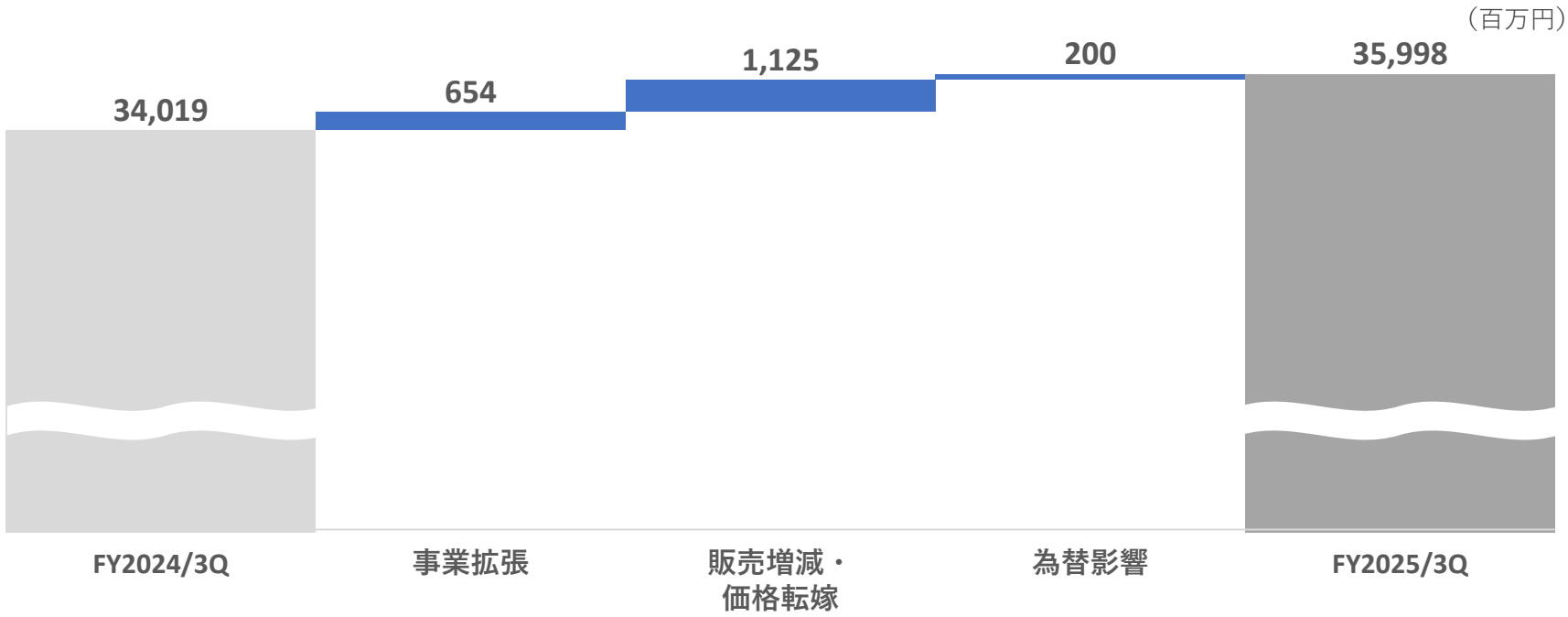
海外

- マレーシアでOA機器向けのファスナー製品、タイで自動車向けのファスナー製品が好調。
- 売上は現地通貨で前年同期比やや減も、売上増の国で前年より円安に振れ円換算では横ばい。

セグメント別売上高・営業利益（連結）

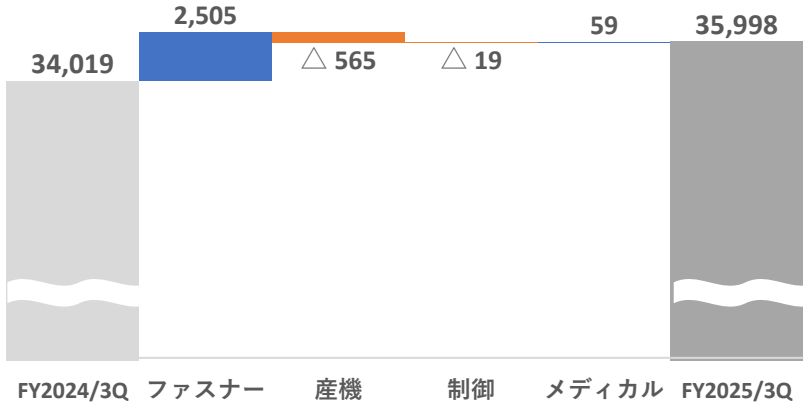
単位：百万円／％		2024/3Q	2025/3Q	前期比	
		金額	金額	増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	24,367	26,872	2,505	10.3
	営業利益	1,004	1,493	489	48.7
	利益率	4.1	5.6		
産機事業	売上高	4,706	4,141	△ 565	△ 12.0
	営業利益	851	527	△ 323	△ 38.0
	利益率	18.1	12.7		
制御事業	売上高	4,926	4,906	△ 19	△ 0.4
	営業利益	492	332	△ 159	△ 32.3
	利益率	10.0	6.8		
メディカル事業	売上高	19	78	59	310.4
	営業利益	△ 88	△ 90	△ 2	－
	利益率	－	－		

売上高　増減要因



セグメント別売上高増減

（百万円）



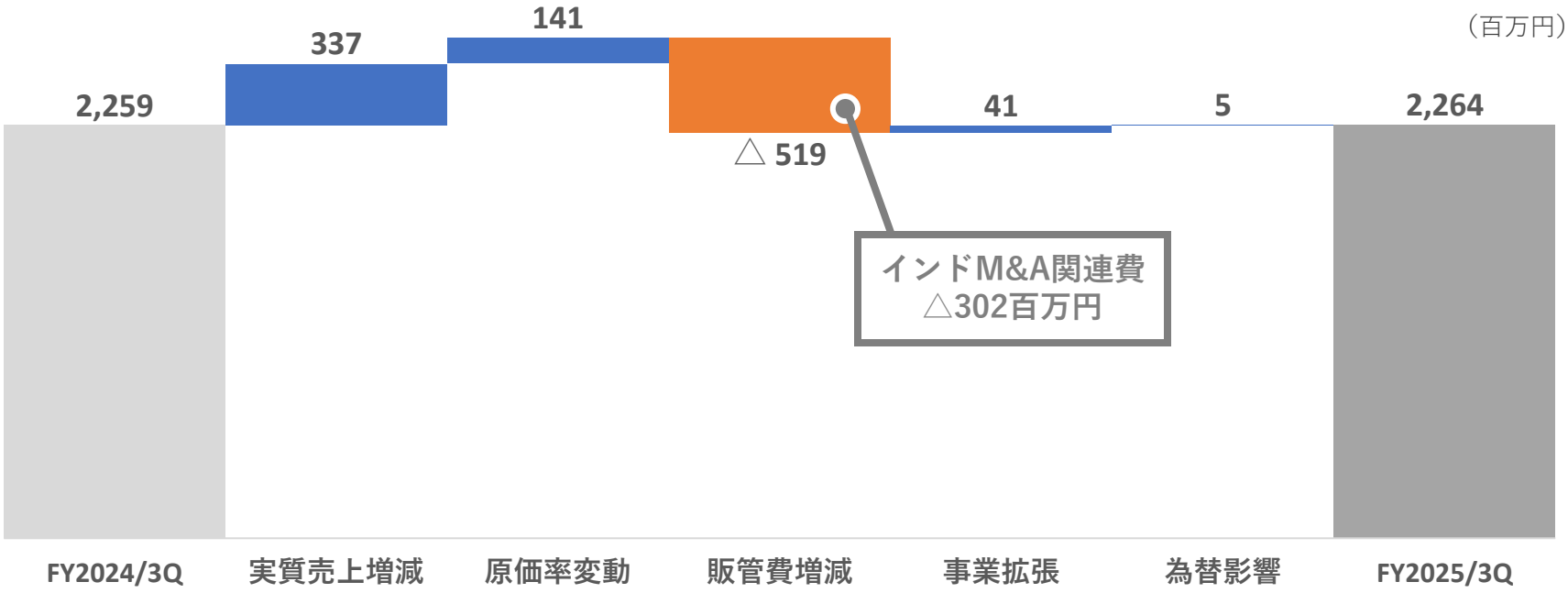
事業拡張

2Qより加わったインド子会社が業績に貢献。

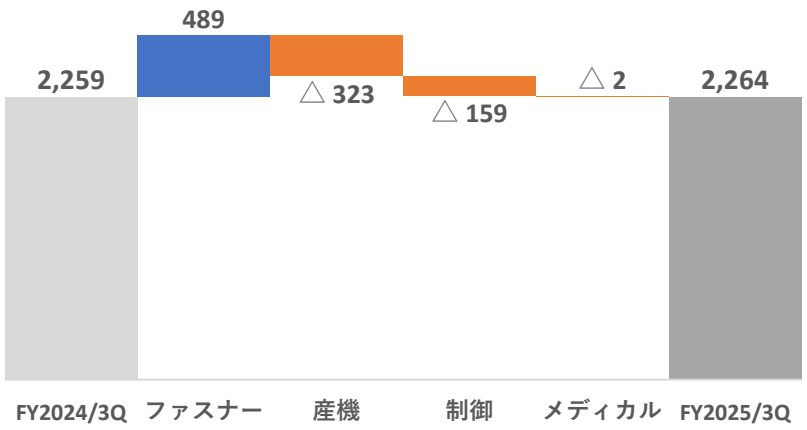
販売増減

ゲーム機向けに精密ねじの売上が大幅に増加。国内自動車向けのCASE関連ファスナー製品、データセンター向けなど生成AI関連も好調。

営業利益　増減要因



セグメント別営業利益増減



原価率変動要因

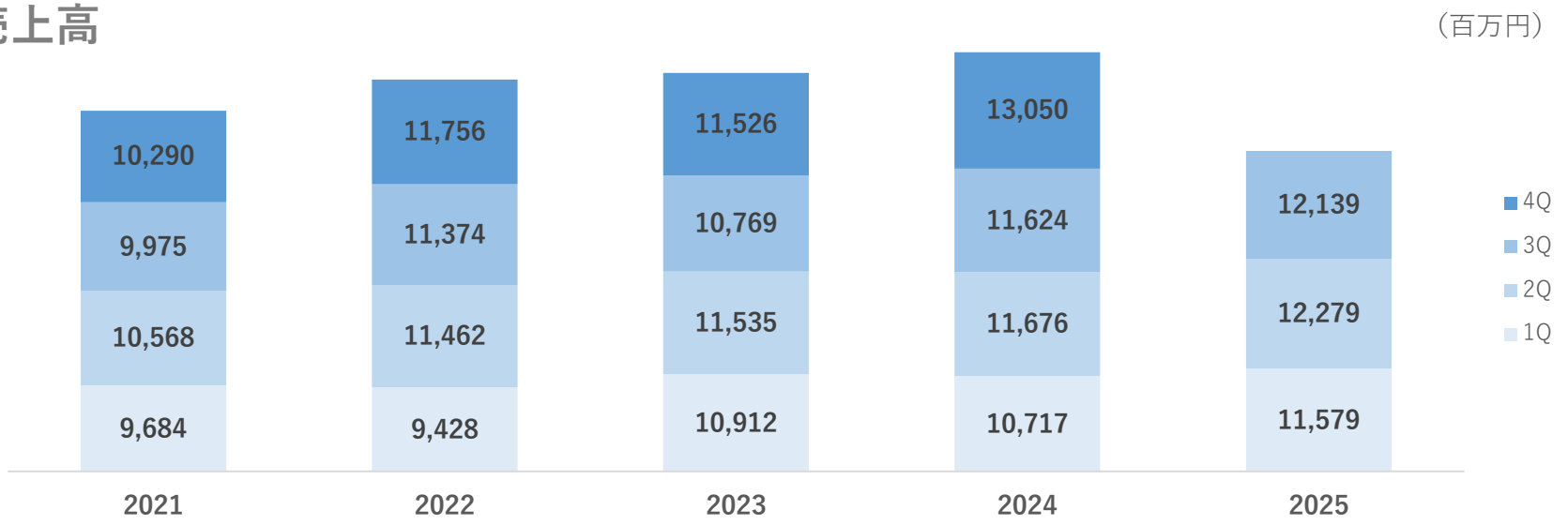
ファスナー事業で調達先の見直しや金型改善などによる製造コスト低減の効果が表れ原価率が改善。

販管費変動要因

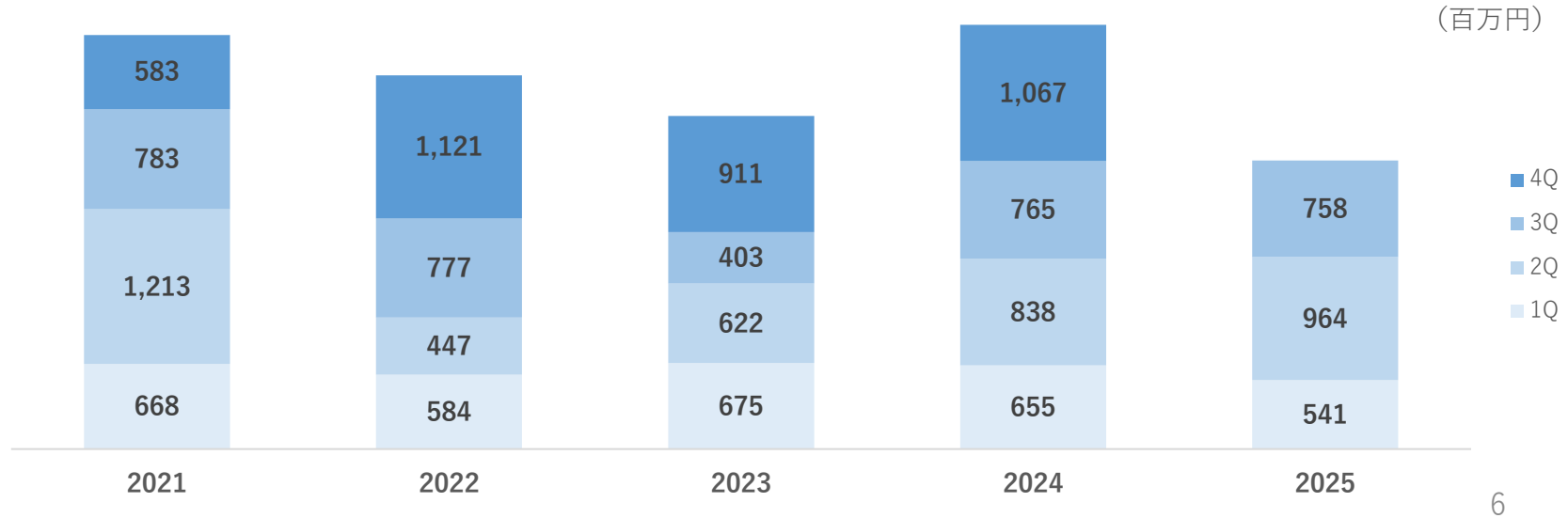
1QにインドM&A関連費を計上した影響で販管費が大幅に増加。
賃上げにより労務費が増加。

四半期ごとの業績推移

売上高

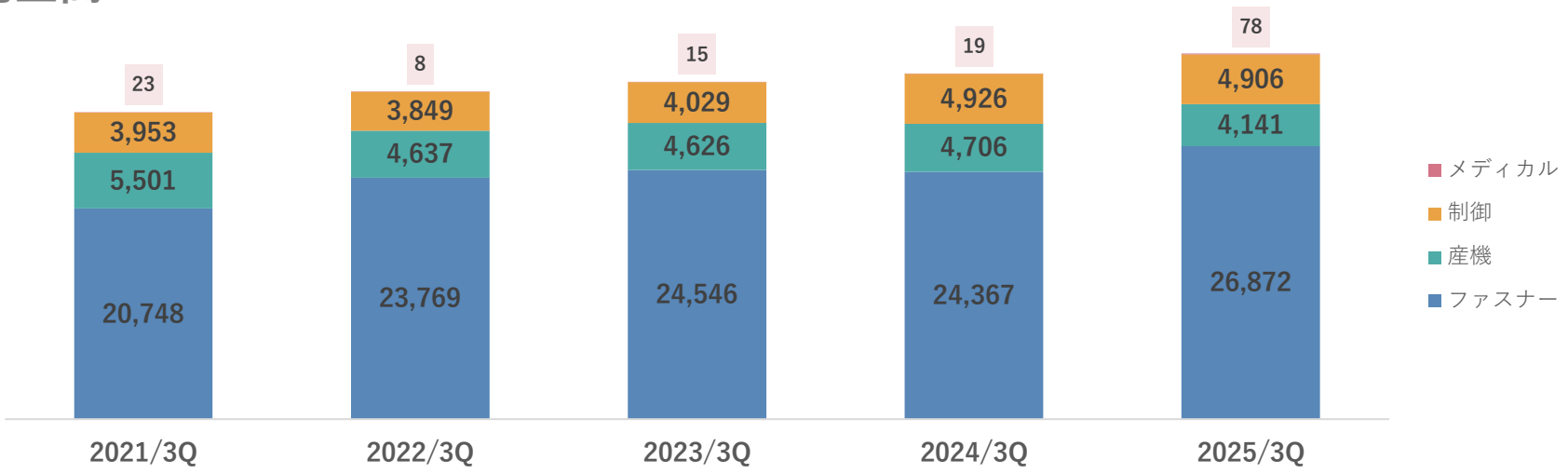


営業利益

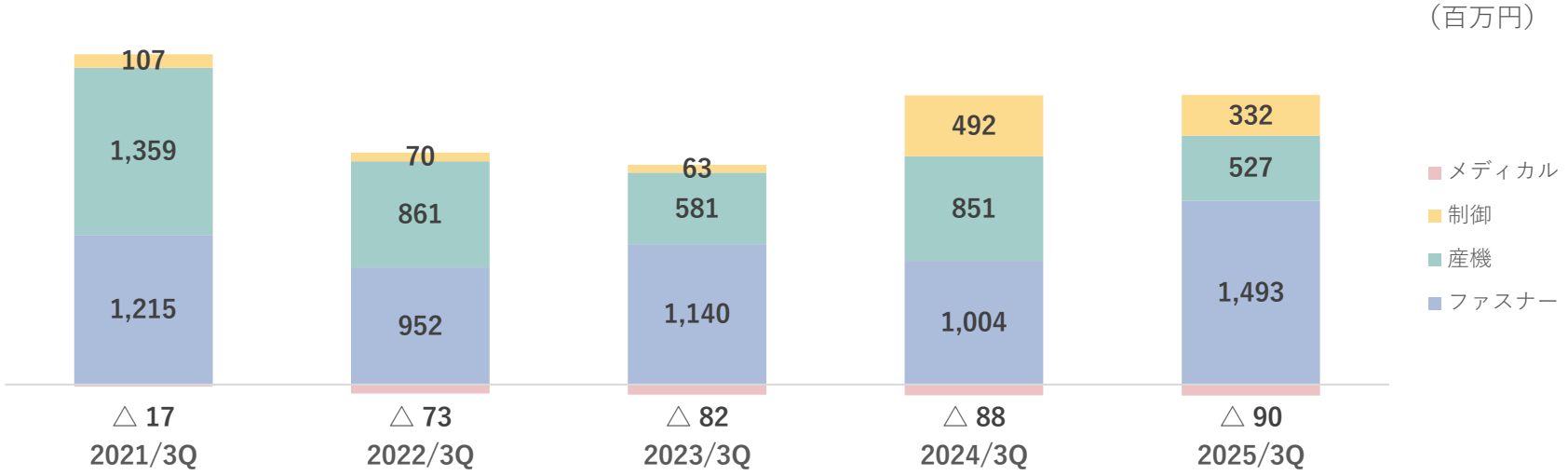


セグメント別業績の同期比較

売上高



営業利益



セグメント別業績概要～ファスナー事業

売上高 前年同期比で増収

自動車業界において2Qより加わったインド子会社が業績に貢献。ゲーム機向け精密ねじの大幅増、AI関連需要、国内を中心とする自動車のCASE関連需要により増収。

営業利益 前年同期比で増益

調達先の見直しや金型改善などによる製造コスト低減・利益率向上の改革効果が徐々に表出。1QのインドM&A関連費計上の影響はあるものの、国内の自動車向け・ゲーム機向け好調。

単位：百万円／%	2024/3Q	2025/3Q	前期比		コメント
	金額	金額	金額	増減率	
売上高	**24,367**	**26,872**	**2,505**	**10.3**	
自動車	9,557	10,792	1,234	12.9	2Qより加わったインド子会社が業績に貢献。国内中心にCASE関連のオリジナル品好調。軽量化・薄板化貢献の「JOISTUD」、車載バッテリー向けの異種金属接合「AKROSE」も引き合い活発。
住宅・建築	5,308	5,268	△ 39	△ 0.8	業界の深刻な人材不足・資材高騰による計画遅延などが続く影響で、前年同期並み。
電機・電子部品	3,545	3,523	△ 22	△ 0.6	市場の鈍化による在庫調整でプレス部品の受注が減少。
雑貨	1,518	2,207	689	45.4	ゲーム機向けの精密ねじが大幅増。今後も継続見込み。
ＩＴ・情報機器	1,210	1,275	65	5.4	マレーシアでOA機器向けが増加。中国からの生産移管が進行。
精密機器	862	1,187	324	37.7	国内でレンズ等の映像・光学向けが増加。
エネルギー関連	172	352	180	105.0	生成AI需要によりデータサーバー用蓄電池向けに「CPグリップ」が好調。
医療	231	243	11	5.1	前年同期並み。
その他	1,961	2,022	60	3.1	
営業利益	**1,004**	**1,493**	**489**	**48.7**	

セグメント別業績概要～産機事業

売上高 前年同期比で減収

主力の自動車業界で、CASE関連や新設ライン向けねじ締め機の販売を確保したものの、世界全体のEV販売減速、米国関税の影響で全体的に設備投資が伸び悩んだ。加えて前年の大型設備受注の反動で減収。

営業利益 前年同期比で減益

ねじ締め機において前年2Qより価格転嫁が進んだものの、売上高の落ち込みの影響で前年同期比で減益。

新製品情報 2月に単軸自動ねじ締め機の超低推力モデル「FM513VZR」を発売。

単位：百万円／%	2024/3Q	2025/3Q	前期比		コメント
	金額	金額	金額	増減率	
売上高	**4,706**	**4,141**	**△ 565**	**△ 12.0**	
自動車	2,434	2,573	138	5.7	世界的なEV市場の鈍化、米国の関税強化の影響で設備投資は様子見の状況。一方、CASE関連製品の増産対応や新設ライン向けのねじ締め機の販売を着実に確保しやや回復傾向。海外ではインド向け販売が拡大。
電機・電子部品	868	476	△ 392	△ 45.1	主要ユーザー先における設備投資抑制の影響で前年同期比で減少。
エネルギー関連	191	386	194	101.2	電力計の新機種需要により前年同期比で増加。
遊技機	131	131	0	0.0	前年同期並み。
住宅・建築	114	73	△ 41	△ 35.8	主要ユーザー先における設備投資抑制の影響で前年同期比で減少。
ＩＴ・情報機器	102	26	△ 75	△ 73.4	前年のスマホ関連向け受注の反動で減少。
その他	863	473	△ 389	△ 45.0	前年の汎用エンジン用大型設備受注等の反動で減少。
営業利益	**851**	**527**	**△ 323**	**△ 38.0**	

セグメント別業績概要～制御事業

売上高 前年同期比で微減

化学・薬品分野における分析装置、国内での電池向け分析・計測機器、海外向け元素計が好調に推移。一方、エネルギー分野における前年の大型受注の反動を受け全体では微減。

営業利益 前年同期比で減益

前年は高付加価値の分析機器の受注残の解消が進んだことにより一時的に利益率が上がったが、出荷も通常の水準に落ち着き減益。

新製品情報 6月に海外向けポータブル型水分計「CA/KF-51」を発売。

単位：百万円／%	2024/3Q	2025/3Q	前期比		コメント
	金額	金額	金額	増減率	
売上高	**4,926**	**4,906**	**△ 19**	**△ 0.4**	
化学・薬品	1,011	1,161	150	14.9	アジアでの分析装置の販売が堅調に推移。
エネルギー関連	1,001	610	△ 391	△ 39.1	インド・中東での石油精製、石油化学向けの元素計需要拡大も、前年の硫黄分析装置の大型受注の反動で減少。
環境	482	543	61	12.7	PFAS規制による有機フッ素の分析需要が継続。
電機・電子部品	275	356	81	29.5	国内における電池向け水分計、抵抗率計がけん引。生成AI需要の高まりでデータセンター向け流量計の受注増加。
住宅・建築	220	313	93	42.2	地盤調査機「ジオカルテIV」は戸建て住宅着工件数が伸びを欠くものの、更新需要がありやや増。
造船	246	297	51	20.9	造船業界の好調継続により流量計市場も拡大傾向が続く見通し。
自動車	478	289	△ 189	△ 39.5	世界的なEV需要の減速により、中国向けを中心にLiB向け水分計、抵抗率計が大幅に減少。
医療	89	151	61	68.6	水分計更新需要がけん引。
その他	1,120	1,181	60	5.4	
営業利益	**492**	**332**	**△ 159**	**△ 32.3**	

セグメント別業績概要～メディカル事業

単位：百万円／%	2024/3Q	2025/3Q	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	**19**	**78**	**59**	**310.4**
医療	19	78	59	310.4
その他	–	–	–	–
営業利益	**△88**	**△90**	**△ 2**	**–**

業績	戦略的な市場対応を目的とした製品ポートフォリオの再編に伴い、売上増加。
医療用照明器「FREELED」	コロナ禍を境に顧客要望の高いコスト低減を図りつつ、市場ニーズの収集と提案活動を推進するも、本採用には至らず。今後も販社を通じたPR強化にも注力し、本採用を目指す。
医療用生体内溶解性高純度マグネシウム	2023年の国内特許取得に続き、2024年7月に米国特許取得。他の主要6ヶ国へ申請済みの特許も順次取得予定。引き続き、早期製品化に向けた取り組みを継続中。また、並行して本素材の適用可能性について情報収集を進める。
その他	本年3月には医療機器の品質規格であるISO13485を取得。医療機器開発や製造販売業許可による製造受託案件の獲得に向けた生産体制の構築を進める。

連結貸借対照表

単位：百万円／％	FY2024/4Q		FY2025/3Q		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	**36,504**	**65.7**	**34,441**	**62.2**	**△ 2,063**	**△ 5.7**
現金及び預金	10,580	19.0	9,333	16.9	△ 1,246	△ 11.8
売上債権	13,318	24.0	11,347	20.5	△ 1,970	△ 14.8
棚卸資産	10,992	19.8	12,697	22.9	1,704	15.5
固定資産合計	**19,099**	**34.3**	**20,940**	**37.8**	**1,841**	**9.6**
有形固定資産	14,003	25.2	14,754	26.6	751	5.4
無形固定資産	864	1.6	1,721	3.1	857	99.1
投資その他の資産	4,231	7.6	4,465	8.1	233	5.5
資産合計	**55,604**	**100.0**	**55,381**	**100.0**	**△ 222**	**△ 0.4**
流動負債合計	**13,200**	**23.7**	**12,759**	**23.0**	**△ 440**	**△ 3.3**
仕入債務	8,835	15.9	7,447	13.4	△ 1,387	△ 15.7
短期借入金	1,325	2.4	2,444	4.4	1,119	84.5
固定負債合計	**3,812**	**6.9**	**3,582**	**6.5**	**△ 230**	**△ 6.0**
長期借入金	235	0.4	190	0.3	△ 45	△ 19.2
負債合計	**17,012**	**30.6**	**16,341**	**29.5**	**△ 671**	**△ 3.9**
資本金	3,522	6.3	3,522	6.4	－	－
資本・利益剰余金	30,793	55.4	31,379	56.7	585	1.9
自己株式	△ 1,778	△ 3.1	△ 1,746	△ 3.1	31	－
純資産合計	**38,591**	**69.4**	**39,040**	**70.5**	**448**	**1.2**

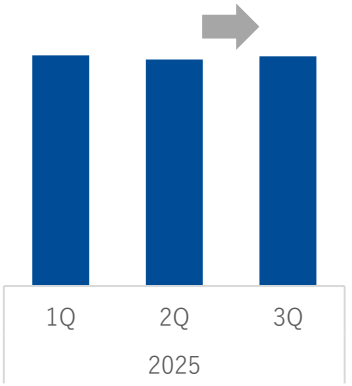
2．2025年12月期(第120期)業績予想

本資料に掲載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこの見通しと異なる場合があります。

連結業績予想

単位：百万円／%	FY2024		FY2025（予想）		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	47,069	100.0	50,100	100.0	3,030	6.4
営業利益	3,326	7.1	3,600	7.2	273	8.2
経常利益	3,573	7.6	3,700	7.4	126	3.5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,199	4.7	2,300	4.6	100	4.6
一株当たり当期純利益（円）	60.18		63.36			

注残の推移



予想のポイント

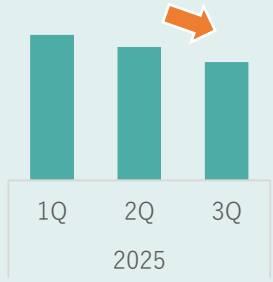
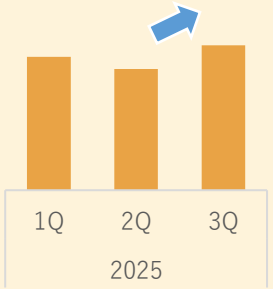
売上高

- ファスナー事業のゲーム機向け精密ねじの需要は年内も継続。生成AI関連の需要拡大に伴い、データセンター向けCPグリップの需要も数年スパンで堅持する見込み。また、自動車の電動化対応としてバッテリー・インバーター等向けの市場が拡大。国内販売を中心に、ファスナーオリジナル製品の売上寄与が安定して推移する見込み。
- 産機事業の海外需要は依然として苦戦が続く一方、インドネシア・インド市場が堅調。国内でのエネルギー関連大型設備案件による売上寄与を下期にかけて見込む。プライベート展示会による製品PRを強化し、受注促進を図る。
- 制御事業においては、欧州を中心に環境分野の分析需要は継続。PFAS関連のスクリーニング需要が引き続き旺盛。国内ではPFOS/PFOA規制動向を背景にAQF関連需要が高まる可能性。データセンター向け流量計や造船関連機器の需要も活発な状況が続く。
- メディカル事業についても特定製品による業績貢献が見込まれる。

営業利益

- ファスナー事業は、高水準の生産体制を維持し、利益創出に貢献。賃上げ分を含む人件費高騰分の価格転嫁を引き続き実施。
- 産機事業のエネルギー関連向け大型特殊設備は売上には寄与するが、収益性は厳しい状況。また、米国追加関税による影響で現地法人では輸入コスト増が利益を圧迫。
- 制御事業は、コストダウン設計・購買先との交渉・生産性改善・経費削減を継続。適宜販売価格への転嫁を進め、取引先の理解を得ながら適正な価格改定を実施。
- 第1四半期にM&A費用を計上したインド子会社の下期以降の利益貢献が期待される。

セグメント別市場動向と取り組み状況

事業		主な市場動向	取り組み状況・今後の取り組み	注残の推移
ファスナー	自動車	EV販売減速の影響はあるが、CASE関連におけるADAS向けを中心とした製品の需要増加。電動化でバッテリー・インバーター等向け市場の拡大は継続。車両の軽量化、薄板化ニーズ継続。	• 住宅・建築分野でグループ間の相互顧客への同行営業による新たな需要獲得を推進中 • 海外子会社と連携し欧州市場を中心に非日系企業への営業活動強化 • 工場再編による工場間輸送の削減、調達先の見直しなどの製造コスト低減・利益率改善	
	住宅・建築	業界の深刻な人材不足・資材高騰による計画遅延が継続。		
	雑貨	ゲーム機向けの受注が継続する見込み。		
産機	自動車	米国追加関税やEV車向け設備投資延期に伴い各社で様子見の状況。国内も販売台数減少の影響はあるが、標準装備が進むADAS関連は継続の予想。	• 非日系ユーザーをターゲットに低コスト型アジアモデル製品拡充 • インド市場拡販の強化 • 新製品の超低推力モデル「FM513VZR」のPR • ねじ締め機に新たなオプションとして「コンタミユニット」と「超高精度ねじ浮き検出機能」を追加	
	電機・電子	主要ユーザー先における設備投資の抑制が続く見通し。		
	エネルギー関連	製品更新に伴い各社で設備投資が進む見通し。		
制御	化学・薬品	LIB向けは中国を含む一部地域で需要が減速も、国内など次世代電池材料向け需要は継続の見込み。	• 欧州においてPFASのスクリーニング分析で製品の安定性・耐久性テストをユーザーと実施するなどシェア拡大に向けた活動を展開 • 有機溶剤リサイクル装置は、デモ機製作を経て来年の発売を予定	
	エネルギー関連	インド・中東での石油精製、石油化学向けに元素計、自動試料燃焼装置の需要が拡大中。		
	環境	国内で2026年4月からPFOS・PFOAの規制が決定し需要増に期待。今年4月に公定法に採用された小型蒸留装置の販売も増加傾向。		
メディカル	開発計画	2024年7月の米国を皮切りに「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の海外特許を順次取得予定。同材料の早期製品化に向けて準備を進めると同時に、様々な医療機器領域への適用拡大について探求を進める。当社既存技術を活かした新たな医療機器の製造受託案件の獲得に向けた体制も構築中。		